



足立パドラーズ 荒川遠泳 プレ大会



9月16日 土曜日

コロナ感染防止対策を行いながら足立パドラーズ遠山氏、門屋氏、梅沢氏、関谷氏、渡邊の5名でNPO法人荒川学会が主催する来年2024年荒川放水路100周年のイベントとしてあらかじめ遠泳一プレ大会のスタッフとして河川のごみ拾いと救護ボートに乗船し、選手の安全確保、遠泳大会の運営に協力いたしました。足立パドラーズの会員のほとんどが泳ぐのは難しいと考えていました。

第一の理由としては土手から見ると河岸には魚の死骸や油や缶、ペットボトルが浮いていて泳ぐ環境では無いと感じました。しかし10名の選手は、そんなことを気にせず悠々と泳いでいました。途中の鉄橋橋脚のところで1名救護ボートに救護しましたが、その後ゴール直前にまたレースに参加してゴールしました。チームの団結力を感じました。



足立パドラーズは、桑袋ビオトープを最適な活動拠点として活動しております。

文教大学・足立区と連携して河川清掃活動を広げていきたいと考えております。

